

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山工業高等学校

学校番号 (24)

評価実施日		令和7年2月19日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	菊池 伸英	同窓会会長	
	大北 謙治	前同窓会会長	
	村上 征士郎	PTA会長	欠席
	武智 秀樹	株式会社 親和技術コンサルタント 代表取締役	
	梶原 慶彦	株式会社 伊予鉄グループ 人事課長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について 全般的に、厳しい評価基準の中で適切な取組がなされており、評価は適切である。 (全日制・定時制)</p> <p>(1) 学習指導 松山工業高校の生徒を採用してよかったという声が多い中で、語学力の不足を指摘されることもある。英語教育に力を入れてほしい。 (全日制)</p> <p>(2) 生徒指導 企業としてはチームで動く部署もあり、また安心・安全という面を考えると大切なコミュニケーション能力を伸ばせるような指導をお願いしたい。 (全日制・定時制)</p> <p>交通安全の項目については、B評価、更にはA評価になるよう取り組んでほしい。 (全日制)</p> <p>(3) 進路指導 以前は特に建築科や土木科から市役所や県庁への就職がかなりあったが、少ないのが気になる。 就職希望と進学希望の割合に変化はあるか。今後の変遷の見込みはどうか。 (全日制)</p> <p>地元で就職してほしいという希望がある。進学後も地元に戻って地域に貢献してほしい。 県外への就職後、ミスマッチ等で離職した場合に、地元での再就職を促すような働きかけがあればありがたい。 (全日制)</p>	<p>グローバルな人材の育成には必要性を感じており、今後力を入れていきたいと考えている。</p> <p>学校生活の様々な場面の中で、適切な状況判断と意思疎通ができるよう、学校全体として取り組み、指導していく。</p> <p>交通事故の未然防止のために、交通安全教室だけでなく、生徒が主体的に活動し、生徒自身の内面の変容が図れるような取組ができるよう指導していきたい。</p> <p>少数ではあるが、近隣の市町の役所へ就職している。地域を支える人材の育成に尽力したい。 ここ十数年同じくらいの割合で推移している。しばらくは大きな変化はないと思われる。 進学者のUターン就職や、再就職のために学校を訪問してくる卒業生には、ハローワークと連携して、主に各科で対応し地元就職を促しているの、継続していく。</p>

<p>松山大学に情報系の新しい学部ができることもあり、地元の大学との連携を考えていくべきではないか。(全日制)</p>	<p>企業との連携はいろいろな面で進んでいるので、現在大学との連携を進めているところである。</p>
<p>(4) 特別活動 部活動は、体力やコミュニケーション能力の育成に役立つと思うので、今後も部活動への積極的な取組をお願いしたい。(全日制・定時制) 校歌をしっかりと歌えるようになっておいてほしいが、どのくらい校歌を歌う機会があるのか、指導をしているのか。(全日制)</p>	<p>生徒の自主的、主体的な行動を大切に育み、全国に誇れる成績、戦績をあげて生徒の技術力向上と学校全体の活性化に繋げていきたい。 学校行事の式の際や、壮行会などで、全校生徒で斉唱している。</p>
<p>(5) 工業指導 採用する側としても、資格は必要だと思うので、資格取得には引き続き力を入れてほしい。(全日制・定時制)</p>	<p>学年ごとの目標を更に明確にし、成果を高められるよう啓発活動に努める。</p>
<p>(6) 人権・同和教育 適切である。(全日制)</p>	<p>今後も、成果の上がる取組を継続していく。</p>
<p>(7) 環境整備 適切である。(全日制)</p>	
<p>2 説明・公表について 資料も分かりやすく、適切である。(全日制・定時制)</p>	
<p>3 学校運営への提言 評議員会での評議の内容等を共有していきたい。評議員会の方で新しい課題など提出されていないか。(全日制) 来年度の入学希望者が増えたとのことで嬉しく思う。今後とも熱心な指導をお願いしたい。(定時制)</p>	<p>地域との連携をもっと進めて、地域にとってなくてはならない学校になってほしいという要望があった。各科の特色を生かしながら、学校全体として地域貢献に取り組んでいきたい。 引き続き、定時制の良さを示しながら、魅力ある学校になるよう頑張りたい。</p>